

第 2 章

三田市の現状

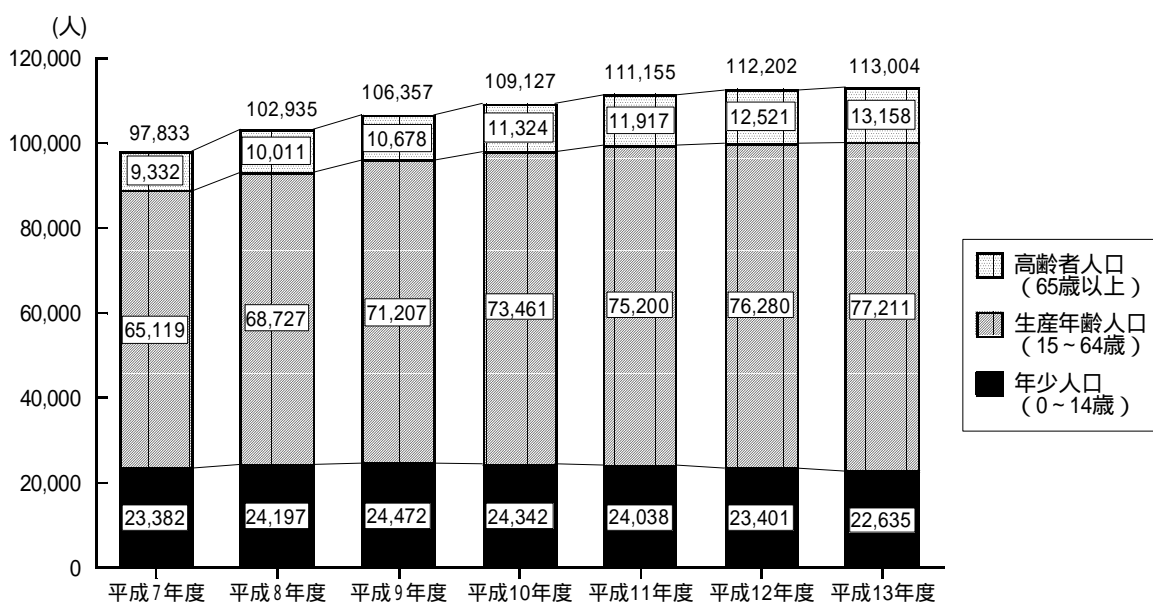
第2章 三田市の現状

1. 三田市の人口

(1) 人口推移

三田市の人口は、平成7年度から平成10年度まではゆるやかな増加傾向を示し、平成10年度以降は、ほぼ横ばいで推移しています。15歳～64歳の生産年齢人口や65歳以上の高齢者人口は増加傾向にあります。0歳～14歳の年少人口は、平成9年度をピークに減少に転じています。

図. 三田市の人口推移



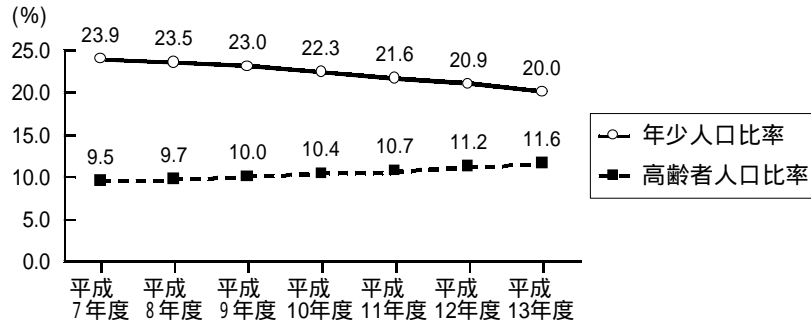
資料：市民課（各年度末数値）

(2) 年齢階級別人口

三田市の年少人口比率は減少傾向にあり、逆に、高齢者人口比率は増加傾向にあることから、三田市においても少子・高齢化が進行しています。

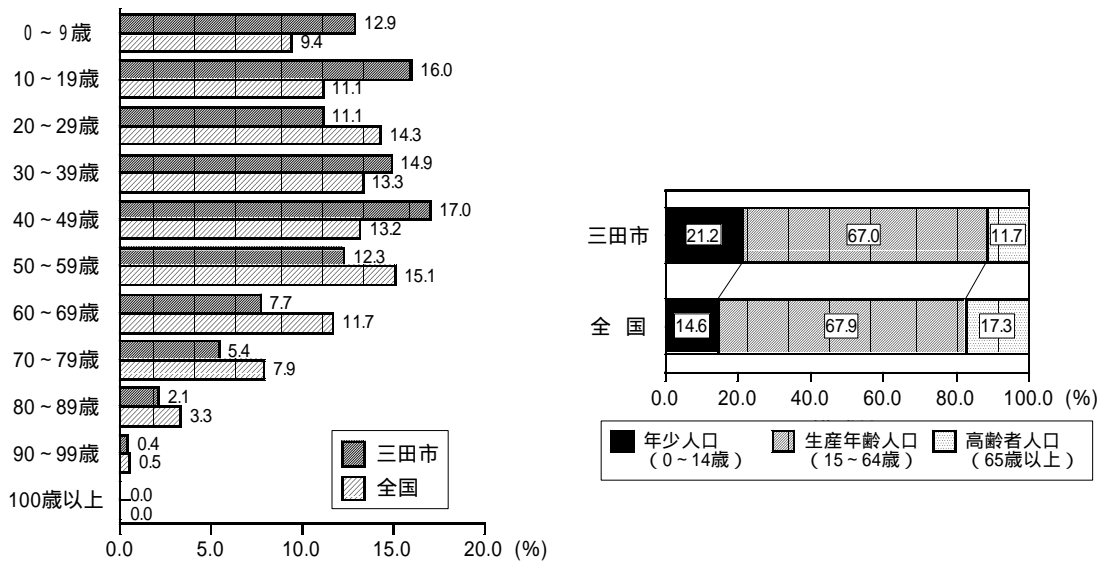
しかし、全国に比べると年少人口（0歳～14歳）の占める割合が多く、高齢者人口（65歳以上）の占める割合は少ないことから、全国に比べて少子・高齢化の進行はゆるやかであるといえます。

図．年少人口比率、高齢者人口比率の推移



資料：市民課（各年度末数値）

図．年齢階級別人口構成比（全国との比較）

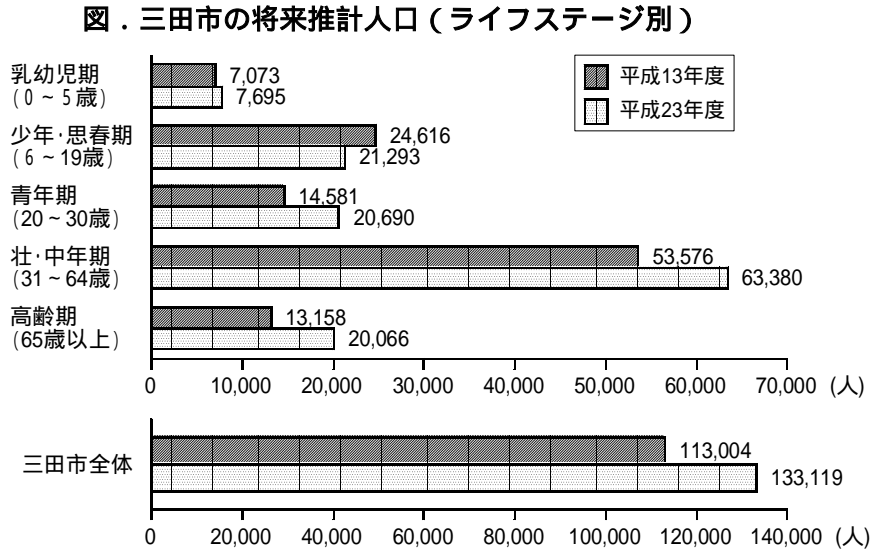


資料：総務省「国勢調査」（平成12年）

(3) 将来推計人口

市全体としては、本計画の最終年にあたる平成23年度には、133,119人に増加すると予測しています。

ライフステージ別の将来推計人口をみると、少年・思春期の人口は減少しますが、青年期、壮・中年期、高齢期の人口が大きく増加する見込みです。

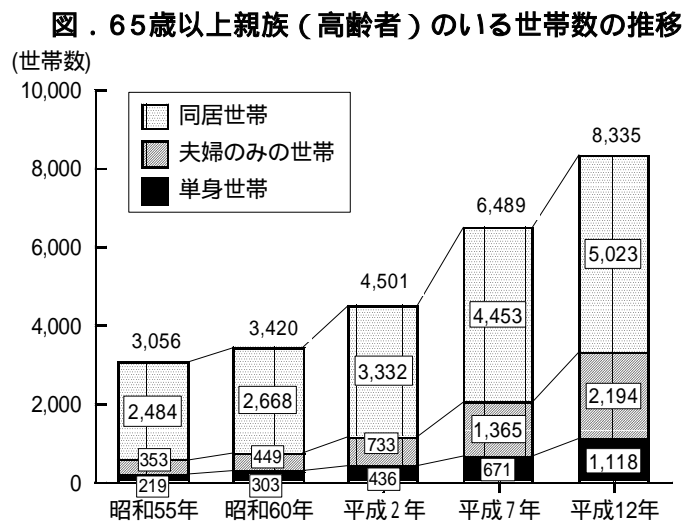


資料：企画管理課

(4) 世帯の状況

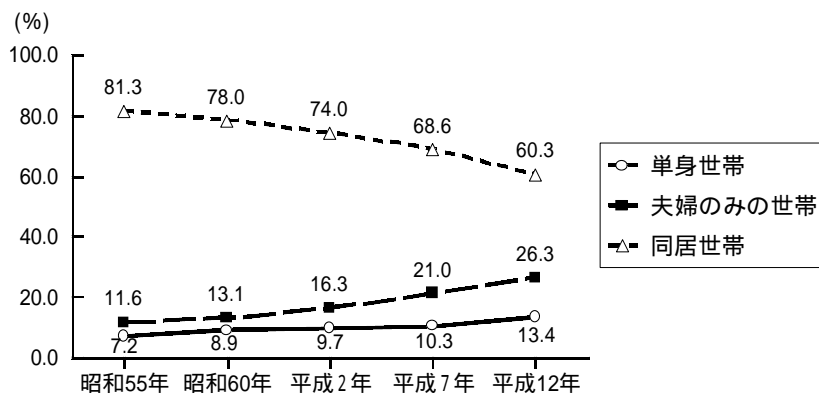
65歳以上親族のいる世帯状況の推移

65歳以上の高齢者のいる世帯は増加しており、平成12年度の国勢調査では8,335世帯で、一般世帯（34,271世帯）の24.3%を占めます。また、高齢者の単身世帯や、夫婦のみの世帯が増加し、同居世帯は減少傾向にあることから、高齢者だけで暮らす世帯が増加していることがわかります。



資料：総務省「国勢調査」

図．高齢者世帯総数に占める世帯状況の推移

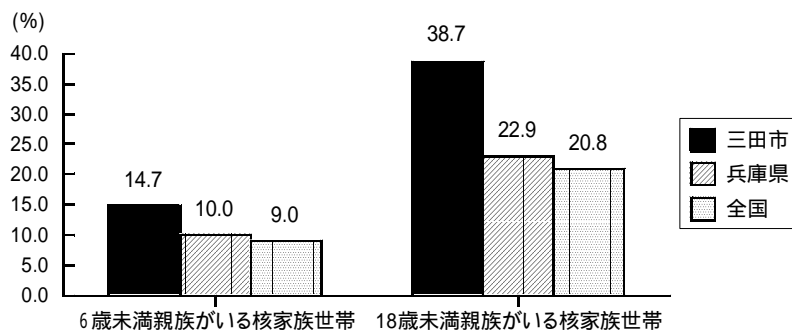


資料：総務省「国勢調査」

子育て世帯の状況

三田市の子育て世帯については、核家族の割合が、兵庫県や全国に比べて多く、子育て家庭の核家族化がうかがえます。特に18歳未満の子どもがいる核家族世帯の割合は、兵庫県や全国を大きく上回ります。

図．一般世帯総数に占める核家族世帯の割合（県・全国との比較）



資料：総務省「国勢調査」(平成12年)